



御殿場

Rotary Weekly Report

国際ロータリー第2620地区

ロータリークラブ

週報

ロータリークイズ

2006 - 2007 R I 会長ビル・ボイド氏の出身国は？

- A : アメリカ合衆国  
B : ウクライナ  
C : ニュージーランド  
答えは次週で！



例 会 場 / 名鉄菜館

開 会 点 鐘 / 18:00

ロータリーソング / 奉仕の理想

内 容 / 前会長・幹事慰労会

並びに新入会員歓迎会

会 員 慶 事

会員誕生日

7月15日 芹澤正明君

7月19日 勝又 誠君

皆出席

7月7日 林 由行君 (1年)

7月10日 長田吉弘君 (20年)

次回 7月20日(1950回)の例会

12:30点鐘 クラブ協議会 ホテル御殿場館21  
(第1回)



## 会長挨拶 土屋 閣正

山口会長、林幹事1年間大変ご苦労さまでした。6月29日に最終例会を終了され、この1週間はホッとされたことと思います。1年間山口会長の隣に座り、この伝統のある御殿場ロータリークラブの重さ、厳しさをひしひしと感じました。そして、山口会長、林幹事の素晴らしいコンビネーション、真剣で誠実なクラブ運営に感銘を受け、勉強させて頂きました。ありがとうございました。

さて、本日より御殿場ロータリークラブ40年度の会長を務めさせていただきます。浅学非才の身であります。一生懸命頑張るつもりでありますので、会員皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

本年は1967年6月に創立以来、40周年を迎えます。先輩の皆様が伝統と実績のある素晴らしいクラブとして運営されて来ましたことに、先ず敬意を表し、御礼を申し上げたいと思います。本年はそれを大事にして次へのステップにする大事な年と考えています。

今年度、ウィリアムB・ボイドRI会長は、「率先しよう(LEAD THE WAY)」をテーマに、水保全、識字率向上、保健及び飢餓、ロータリー家族の4つを強調事項として掲げました。

第2620地区井上ガバナーは同じく「率先しよう」～職業奉仕と親睦を～をテーマに会員増強と財団寄付を継続する強調事項として掲げています。国際ロータリー及び地区の方針を尊重しながら、会員の皆様の楽しい例会となるよう努力していきたいと思います。

前年度は、大先輩が退会され誠に残念でありましたが、2名の優秀な新会員が入会し、今年度は62名でスタートすることができました。会員の皆様と一緒に創立40周年を迎え、更なるクラブの発展を願い、クラブ運営に微力ではありますが誠心誠意努力したいと思います。会員の皆様のご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げて、年度始めの挨拶と致します。

## 所信表明

### 会 長 土屋 閣正君



昨年12月の年次総会に於いて、会長エレクトに指名されて以来、幹事には勝又博文君、会計は渡邊俊彦君にお願いし、3月26日のP E T S及び4月17日の地

区協議会を経て、今日まで準備を進めて参りました。理事、役員の皆様のアドバイスをいただきながら、7回の被選理事会を重ね、各委員長の皆様には、活動計画、予算の作成にご努力を頂き、ありがとうございました。

お陰様で本日の第1例会に活動計画書をお渡すことができました。今後ともご指導、ご協力をお願い致します。

国際ロータリーは世界163カ国に530地区を擁し、会員総数は120万人の組織です。その会員は32,000のロータリークラブに所属しています。第2620地区はクラブ総数84クラブで、会員総数3,700名で構成されています。ロータリーは世界規模で考え、それぞれの地区、クラブで行動しているのです。

R I 会長及び第2620地区ガバナーの基本方針を尊重し、本年度御殿場ロータリークラブは2つの重点目標を掲げさせていただきました。

#### (1) 創立40周年が成功するよう努力します。

1967年6月1日に沼津北ロータリークラブのスポンサー、小林完特別代表により創立し、6月23日に認証を受け、1968年4月21日に30名でチャーターナイトを行い、スタートいたしました。多くの先輩会員の皆様の努力で、現在62名の会員を擁する、伝統と歴史のあるクラブに成長し、40周年を迎えることとなりました。

昨年の山口年度において、クラブフォーラムを開催していただき、基本的には記念例会として開催し、また正副実行委員長を決定していただきました。

第2620地区井上ガバナーの予定も考慮して、11月下旬に東山荘で、30周年、35周年に準じた方向で進めていただき、早い時期に実行委員会を開催して、部会編成をして、会員全員の参加をお願いし、準備していただきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

(2)「継続は力なり」をモットーに長年の歴史と伝統を尊重して、奉仕と親睦の輪を広げ、魅力ある楽しいクラブになるよう努力いたします。

当クラブは、奉仕部門と親睦部門が両輪となって、会員増強及び退会者の防止については、増強、選考、職業分類、情報で確実に指導され、出席率の良さ、親睦活動及びプログラムのすばらしさ、会報及びホームページの充実、企業訪問、富士山の美化運動、青少年の職場体験、教員海外派遣の助成事業及び青少年交換事業等々、39年間素晴らしいクラブ運営をしてまいりました。

10のクラブ奉仕委員会、4大奉仕委員会、財団、米山、S A A等、全てがうまく運営されてきました。各委員会の役員の皆様の努力と責任感がこの伝統と歴史をつくりあげた賜物と考えています。

特に第2分区の会長・幹事会に出席してみても、改めて御殿場クラブの良さを実感できます。「継続は力なり」をモットーに御殿場クラブらしさを継続していきたいと思います。

以上2つの重点項目について説明させていただきました。

世の中は明日をもわからないような急激な変化の時代であり、国際ロータリーも、第2620地区も組織を含めた大きな変化があります。

特に現在直面しているC L P (Club Leadership Plan)についてご説明したいと思います。

C L Pは変動する社会に柔軟に適應し、効率的、継続的な活動を進め、クラブの体質強化を図ることを目的とした国際ロータリーが推奨するプランです。

P E T S 及び地区協議会においても説明がありましたが、井上年度は周知年度であり、次年度沼津北クラブの道部年度は実施年度であります。

本年度会長幹事会等でC L Pについて説明し、各

クラブが取り組んでもらいたいということです。それをうけて9月頃進捗状況につき84クラブに対しアンケート調査を行い、実施されているか否かを調査し、理解されていないクラブに対して積極的に伝達していきたいとのことです。

時間的流れとしては、年度開始前1月から6月までのクラブ協議会などで検討採用が決定されれば、クラブ細則の改訂など行って、7月1日から実施できるようにとありますから、12月末までにはCLPの周知徹底を図りたいとの事です。

採用は各クラブの意思によるとされていますが、推奨クラブ細則をはじめ全ての関係資料がCLPを基にしたものになってしまうので、やはり採用の方向で検討していかないと、地区の組織も大変な事になってしまうとの事でした。地区及び第2分区の会長幹事会の推移を慎重に見極めたいと思います。

当クラブでは、12月には年次総会で次年度の理事が決定されます。早期に研究グループをつくり、クラブフォーラムを開催して、会員の皆様のコンセンサスを深めて、いつでも対応できるように準備していきたいと思います。

CLPとは何か、ロータリーになぜCLPが必要なのか、このプランは義務づけられているのか、クラブは現在の構成から新しい構成へどのように移行すればよいか、CLPの下では、4大奉仕部門はどのような役割を果たすのか、CLPとDLPとの関係について、推奨ロータリークラブ細則等についていろいろの問題がありますので、慎重に検討していきたいと思います。

最後になりますが、そもそも日本ではロータリーは「人づくり」にあるということが言われてきました。

日本のロータリーの創始者である米山梅吉氏も「ロータリーは人生の道場である」と言われています。

40周年を節目に御殿場ロータリーの良さを助長しながら、更なる発展のために会員の皆様のご支援、ご協力をいただき、誠実に、前向きに、微力ながら精一杯努力したいと思います。

～年度初頭に当たって～

## 見つめる時間

幹 事 勝又博文君



創立40年目となります年に、若輩な私が、幹事という大役を仰せつかる事となりました。その重責に身の引き締まる思いで御座います。

思わぬミスや心配りが足らずに、皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、ロータリーの友情に免じてお許しいたきたいと思います。

全身全霊を込めて幹事の職務を果たすつもりであります。会員の皆様のご指導とご協力を心よりお願い申し上げます。

土屋闔正会長は、「継続は力なり」をテーマとして掲げられました。どんな大事も日々の小事の積重ねであり、小事を軽んずるものは、決して大事を成就することは出来ません。

御殿場ロータリークラブの歴史と伝統も、このようにして多くの先輩方の努力によって創られてきました。このことを思うと、崇敬の念を抱かずには居られません。

このテーマを耳にしたとき、かつて私が落ち込んでいたときに、ある友人が掛けてくれた言葉を思い出します。

「少し長めにものを見つめるように心がけてごらんよ。生きている喜びが目に見えて高まってくるから。」

私たちは、時間にせきたてられ、毎日を滑るように過ごしています。常に気が先走り、「今」を生きている実感もうすれてきます。喜怒哀楽も感じなくなってきます。

こんなとき、長く見つめることで呼吸も整い、心も落ち着き安定し、的確に物事の判断も出来るようになります。そして「今」というこの一瞬を充実させることで、幸福感を実感できるようになると助言してくれました。

ロータリーの例会もこれと同じではないかと思いました。私たちは仕事に追われ、激しい競争にさらされ、疲れきってもいられない、そのような毎日を過ごして



います。点鐘から始まり点鐘で終わるロータリーの例会は、自分を見つめ、仲間を見つめ、社会を見つめる貴重な時間ではないかと思います。ロータリークラブはそれぞれの分野の代表するリーダーの集まりであり、人材の宝庫でもあります。お互いのよさを認め合い、そして高めあうことが出来る場でもあります。

また、今まで行なってきたロータリーの活動も、もう一度見つめなおしてみると、実に意義と価値のある活動であることに気づきます。主体的に取組めばそこか

ら今まで気づかなかった新たな発見や感動が沢山あるのではないのでしょうか。「継続は力なり」のテーマの奥には深い意味があることを感じます。

私は、土屋会長を支え、会員の皆様の手足となって、この1年間このテーマを追求していきたいと思います。「ロータリークラブに入っていて良かったなあ。」と思っただけのよう、全力をあげて幹事の職務にあたる覚悟でございます。どうぞ1年間宜しくお願い申し上げます。



皆出席  
齊藤 保



皆出席  
小野篤之



皆出席  
土屋閣正



ソングリーダー  
秋田悦夫



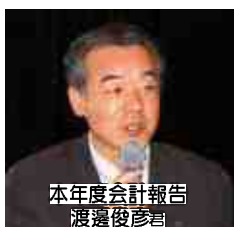
SAA  
長田吉弘



幹事報告  
勝又博文



前年度会計報告  
勝又 洋



本年度会計報告  
渡邉俊彦



出席報告  
戸栗太平



スマイル報告  
石川又英



おかえりなさい  
事務局員 滝口敦子さん



幹事  
勝又博文

会計  
渡邉俊彦

副会長  
勝又重香

会長  
土屋閣正

一年間よろしくお願いします

## 7月6日の出席報告

※やむを得ず欠席される方は、  
午前10時までにご連絡下さい。

会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
62名	60名	54名	90.00%	100%

●欠席者(6名) 橋本喜市君・井口修一君・水口正宏君  
大森清治君・小野寛幸君・渋谷 一君

## 6月22日のメーキャップ

6月16日 裾 野 芹澤正明君  
6月23日 裾 野 渋谷 一君  
6月28日 長 泉 秋田 敬君  
6月30日 沼 津 大森清治君

## 7月6日のスマイル

・2006～2007年度がスタートいたしました。1年間会員の皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

土屋会長・勝又幹事

・御殿場吹奏楽団の第26回定期演奏会を今月16日に開くことになりました。是非お聞きください。

田代博久君・小野篤之君

・滝口が本日より復帰いたしました。ご迷惑をおかけしますが、またよろしくお願いします。

石田 恩

・昨年度は滞りのない会費の納入、たくさんのスマイルありがとうございました。よく考えるとスマイルの回数が一番少ないのは私だったりして・・・。

6月までの会計 勝又 洋君

・明日、私の亡き父が従六位という表彰を受けることになりました。死んでからも表彰されるとは知りませんでした。

石川又英君



御殿場  
ロータリークラブ

第2620地区

○例会日/木曜日

○例会場・事務局/YMCA東山荘

静岡県御殿場市東山1052

電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138

http://www.gotemba-rc.gr.jp/

○会 長/土屋 閣正

○幹 事/勝又 博文

○会報委員長/齊藤 礼志

